

令和5年8月設楽町教育委員会定例会会議録

設楽町教育委員会8月定例会が、次のとおり開催された。

開会日時 令和5年8月8日 午後6時30分

閉会日時 令和5年8月8日 午後7時20分

会 場 設楽町役場 議場

1 出席した教育長及び委員の氏名

教 育 長 大須賀宏明

教育委員 後藤太延 村松純子 伊藤昭広 小野田治幸

2 欠席委員の氏名

3 本会議に出席した者の氏名

山口伸彦 村松純次

4 本会議に出席した事務局職員の氏名

教育課長 遠山雅浩

教育課課長補佐 七原智康

教育課主任主査 伊藤孝美

5 教育長報告

校長会報告については配布済。

夏休み中の行事や盆行事がコロナ前に戻ってきている。また、新型コロナウイルス感染症も感染者が増加している。気を付けて活動して欲しい。

8月17日(木)から中学生人材育成研修と設楽中2年の国内研修(修学旅行)がある。運動会、体育大会があるのでよろしくお願いします。

6 7月臨時会 会議録の承認について 承認された。

7 協議・連絡事項

(1) 要望書について 資料1

教育長:東栄中原田養護教諭から要望書提出。要望事項については昨年と変わらない。

1 複数配置基準の引き下げ等、複数配置の拡充を進めて欲しい。

2 研修の充実を進めて欲しい。

3 指導主事並びに主任養護教諭の管理職への登用の継続等、職責に見合った処遇を積極的に進めていただきたい。

このほかに養護教諭の年齢のばらつきがあり、中堅が少なく、リーダー的な人が

いないので、経験年数がある退職者の登用についても進めて欲しいと要望があった。教育委員会としては、県へ要望していく。

(2) 学校訪問を終えて所感

職務代理：先生が自分の仕事がたくさんある中で、子どもたちに対してとても一生懸命に授業を行っていたのが印象的だった。子どもたちも積極的に参加しており、しっかり勉強できていると感じた。統合校については、少し寂しい感じがした。

小野田委員：先生が工夫し、それぞれの学校で特色のある授業を行っていた。

設楽中で不登校の生徒が iPad を使用して授業に参加しており、とてもよかった。

津具小で児童の近くに空気清浄機が置いてあるのがとても気になった。

名倉小で蛍光灯が多いのが気になった。LED 化すると良いのでは。

村松委員：津具小3、4年生の授業内容が高度ではないかと思い、びっくりした。

設楽中の後藤梨瀬さんの成長にびっくりした。

後藤委員：田口小では研究協議会が同時開催されており、他校の先生もとても熱心に授業を見学していた。

スクールサポートスタッフの活用でとても助かっているようだった。

複式授業、難しい面があるのでは。慣れるまで大変かなと思った。

(3) 調理場のセンター化に向けた進捗について 資料 2

事務局：資料に沿って説明する。既にお伝えしているように調査を進めてきたが、

7月末で完了し、「比較表」のような結果が出た。なお、保育園も集約するという話もあったが、食事形態の違い、手作りおやつを提供等あり、無理ではないかという調理員等からの意見であった。調理場を新設すると3億9千万の事業費がかかるが、多くの課題が解消される。低コストかつ短い期間で対応できる2施設化か1施設化とするか、ご意見を伺いたい。

委員：資料10ページ、経済性の調理機器費の部分、2施設集約化の方に金額が記載されていない。比較ができない。比較するのなら金額を記載した方がよい。

5、6ページの栄養教諭、調理員からのヒアリング結果はとてもいい意見なので、この意見を反映するとよいのでは。

課題のところ、必要な対応と調理員の願望が混在している。背景がもっと見えるようにすると、更によい。

教育長：田口と津具の調理場の2施設に集約した場合、田口調理場は昔、もっと多く調理していたので、食数が増えても作れる。修繕して使用するとなると、調理機器の一般的な更新年数である15年を経過しているため、部品もなく修理できない。何回も修理して使用するとその分、経費が掛かる。新しい機器を

入れるにも広さがなく入らない。初期投資するのか、修繕でやりくりするのか。安心安全を優先するなら新規がよいか。

委員：更新し継続して使用するなら、この先ずっと課題が残る。新設の場合は予算が出せるのか。

委員：今、やらないとできないのでは。やるなら今か。

事務局：補足だが、現在の田口共同調理場を改修した上での1施設化については、下水道工事により現在の調理場の裏側にあった浄化槽がなくなるので、そこに増設するという考えもあるが、一定期間、調理場が使用できなくなるので、保護者に負担がかかる。

教育長：増築してもほとんど費用は変わらない。

委員：改修中に津具調理場で調理したらどうか。

教育長：キャパ的に無理である。

使用しなくなる調理場は、防災の関係で避難所での食事提供のために使用できる。今後は使える所は使っていく。

委員：絶対に作るのか。

教育長：今なら義務教育課の補助金、過疎債、町の教育振興基金等が使えるので、やるなら今である。

委員：新設でも更新でも費用が変わらないのであれば、いいのではないか。

町長に対してセンター化にするなら納得できる理由が必要。

委員：センター化にする納得できる理由があるなら了承する。

教育長：給食調理場のセンター化については、新設でということで町長にお伝えする。

【今後の行事予定】

- 8月24日（木） 東海北陸地区町村教育長研究協議会（名古屋市）：教育長
- 9月7日（木） 市町村教育委員会研究協議会（オンライン）：小野田委員
- 10月2日（月） 北設楽地方教育事務協議会（議場）：教育長、職務代理
- 10月10日（火） 教育委員会定例会（役場議場）：教育長、委員

委員：運動会など学校行事で、必ず参加ではない行事も記入して欲しい。

教育長：わかった範囲でお知らせする。